

第6次国有林野施業実施計画書

(磐城森林計画区)

自 令和5年4月1日
計画期間
至 令和10年3月31日

関東森林管理局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
(4)	伐採総量	3
(5)	更新総量	5
(6)	保育総量	5
3	林道等の整備に関する事項	6
4	治山に関する事項	9
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	10
(1)	保護林の名称及び区域	10
(2)	緑の回廊の名称及び区域	11
6	レクリエーションの森の名称及び区域	12
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	15
8	その他必要な事項	16
(1)	施業指標林、試験地等	16
(2)	フィールドの提供	19
(3)	森林共同施業団地	20
(4)	その他	20

附属参考資料

(1)	国有林野の現況	21
(2)	機能類型別の国有林野の現況	24
(3)	林道等の現況	25
(4)	収穫予想表	25
(5)	地元施設等の現況	25

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域については、別添国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、別冊「伐採造林計画簿」に示すとおりである。

(2) 水源涵養タイプ^{かん}における施業群別面積等

(単位：面積 ha、伐期齢 年)

	施業群	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
	細分			
通常伐期	スギ分散伐区	13,277.57	森林の管理経営の指針による	45
	ヒノキ分散伐区	5,776.82	〃	50
	アカマツ分散伐区	3,837.32	〃	55
長伐期	スギ長伐期	4,587.00	〃	80
	ヒノキ長伐期	989.77	〃	80
	アカマツ長伐期	10,593.81	〃	80
複層林	スギ複層林	1,812.18	〃	45～90
	ヒノキ複層林	217.71	〃	50～100
	その他複層林	7.70	〃	50～100
天然林・その他	ぼう芽分散伐区	2,330.98	〃	25
	天然生アカマツ分散伐区	7,420.24	〃	55
	天然林複層伐区	3,942.94	〃	65
	択伐	12,078.63	〃	回帰年は定めない
	その他	2,797.62	〃	定めない
	設定外(注1)	3,356.22		定めない
	合計	73,026.51		

(注) 1. 施業群設定外は分収林、更新困難地等の特定の施業方法を設定することが適当でない林地とする。

2. 面積は林地面積を計上している。

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群	上限伐採面積	備考
通常伐期	2,402	スギ分散伐区(1,475) ヒノキ分散伐区(578) アカマツ分散伐区(349)
長伐期	1,011	スギ長伐期(287) ヒノキ長伐期(62) アカマツ長伐期(662)
複層林	224	スギ複層林(201) ヒノキ複層林(22) その他複層林(1)
天然林・その他	2,932	ぼう芽分散伐区(466) 天然生アカマツ分散伐区(675) 天然林分散伐区(303) 択伐(1,208) その他(280)
合計	6,569	

(注) 備考欄は、施業群の細分で()は細分個々の上限伐採面積である。

(4) 伐採総量

(単位：m3)

区 分			林 地					林 地 以 外	合 計
			主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ			15,650	17,962 (166.54)	33,612				
自然維持タイプ			—	—	—				
森林空間利用タイプ			—	276 (3.45)	276				
快適環境形成タイプ			—	—	—				
水 源 涵 養 タ イ プ	通常 伐 期	スギ分散伐区	345,975	29,812	375,787				
		ヒノキ分散伐区	28,589	23,727	52,316				
		アカマツ分散伐区	—	1,145	1,145				
	長 伐 期	スギ長伐期	—	27,464	27,464				
		ヒノキ長伐期	—	6,412	6,412				
		アカマツ長伐期	—	—	—				
	複 層 林	スギ複層林	37,982	2,748	40,730				
		ヒノキ複層林	139	726	865				
		その他複層林	—	—	—				
	天 然 林 ・ そ の 他	ぼう芽分散伐区	—	—	—				
		天然生アカマツ 分散伐区	—	—	—				
		天然林複層伐区	202	—	202				
		択 伐	12,444	55	12,499				
		そ の 他	—	—	—				
	設 定 外		172,864	10,571	183,435				
計		598,195	102,660 (1,194.62)	700,855					
合 計			613,845	120,898 (1,194.61)	734,743	814,000	1,548,743	—	
年 平 均			122,769	24,180 (238.92)	146,949	162,800	309,749	—	

(注) 1. () は、間伐面積(ha)である。

2. 当計画区における臨時伐採量は、事業実行に伴う支障木等の指定外伐採量のほか、現地の空間放射線量や土壌汚染の状況等に応じ、今後実施可能な箇所を順次伐採していく数量を含む。

(再 掲) 市町村別内訳

(単位：m3)

市 町 村 名	林 地					林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
い わ き 市	372,591	90,117	462,708				
相 馬 市	10,459	2,243	12,702				
南 相 馬 市	54,430	—	54,430				
広 野 町	17,416	23	17,439				
檜 葉 町	52,991	10,983	63,974				
富 岡 町	33,154	673	33,827				
川 内 村	14,721	10,973	25,694				
大 熊 町	—	5,394	5,394				
双 葉 町	—	—	—				
浪 江 町	700	—	700				
葛 尾 村	47,429	—	47,429				
新 地 町	—	—	—				
飯 舘 村	9,954	492	10,446				
合 計	613,845	120,898	734,743				

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工 造林	単層林造成	3.06	—	—	—	1,215.22	1,218.28
	複層林造成	48.30	—	—	—	128.40	176.70
	計	51.36	—	—	—	1,343.62	1,394.98
天然 更新	天然下種第1類	—	—	—	—	85.94	85.94
	天然下種第2類	5.23	—	—	—	27.98	33.21
	ぼう芽	—	—	—	—	8.20	8.20
	計	5.23	—	—	—	122.12	127.35
合 計		56.59	—	—	—	1,465.74	1,522.33

(6) 保育総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下刈	53.80	2.45	—	—	3,810.00	3,866.25
	つる切	0.73	—	—	—	591.75	592.48
	除伐	0.83	—	—	—	547.73	548.56

3 林道等の整備に関する事項

基幹 ・ その他 別	開設 ・ 改良	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
基幹	改良	塩田(江田)	9	280	
		四時川	325	40	
		戸草	386	45	
		折松	442外	139	
		井出川	653外	200	
		木戸川林道(栗沢分線)	734	1,000	
		木戸川林道(栗沢支線)	734	1,000	
		七曲・高部(木戸川)	735外	1,500	
	七曲・高部(七曲)	744外	1,500		
	計	9路線		5,704	
その他	開設	銅屋場(林業専用道)	13	3,000	
		軽井沢(林業専用道)	17	2,000	(格上)
		火沢(林業専用道)	18	713	
		軽井沢林道 左分岐上永井分線(林業専用道)	20	1,500	
		山下谷(林業専用道)	29	419	(格上)
		梅曾根(林業専用道)	34	880	(格上)
		塩見山(林業専用道)	54	588	(格上)
		滝ノ沢支線(林業専用道)	60	1,276	
		高野支線(林業専用道)	62	118	(格上)
		荻林道荻支線(林業専用道)	114	1,300	(格上)
		神楽山支線(林業専用道)	149	830	(格上)
		敷屋林道敷屋支線(林業専用道)	157	1,210	
		敷屋第二支線(林業専用道)	161	220	(格上)
		横川(林業専用道)	313	1,770	(格上)
		四時川林道19支線(林業専用道)	319	1,000	
		江尻・横川(林業専用道)	335	1,360	
		笹ノ太輪(林業専用道)	347外	560	
間明沢第二(林業専用道)	357	158	(格上)		

基幹 ・ その他 別	開設 ・ 改良	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
その他	開設	朝日支線（林業専用道）	412外	709	(格上)
		中丸山支線（林業専用道）	417	1,560	
		綱木支線（林業専用道）	425	770	(格上)
		折松第二支線（林業専用道）	433	892	(格上)
		田代第二（林業専用道）	444	513	(格上)
		青沢（林業専用道）	539外	2,180	(格上)
		子安川支線（林業専用道）	612外	1,440	
		小笹目（林業専用道）	618外	1,535	
		遠山支線（林業専用道）	626	1,440	
		毛戸（林業専用道）	630	2,160	
		赤木（林業専用道）	646	1,500	
		唐室（林業専用道）	647	895	(格上)
		上北迫支線（林業専用道）	745外	798	
		箒平（林業専用道）	749外	1,440	(格上)
		中ノ森（林業専用道）	1054	1,160	(格上)
		阿掛（林業専用道）	1066	282	(格上)
		滝の倉（林業専用道）	1096外	890	(格上)
		第二賀老（林業専用道）	1109外	1,390	(格上)
		十万山（林業専用道）	1311	480	(格上)
		水無川（林業専用道）	2036	1,220	(格上)
		赤字木（林業専用道）	2070外	1,000	(格上)
	北の沢（林業専用道）	2076	1,330	(格上)	
明治支線（林業専用道）	2079外	1,650	(格上)		
数馬沢（林業専用道）	2225外	930	(格上)		
	計	42路線		47,066	

基幹 ・ その他 別	開設 ・ 改良	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
その他	改良	中川	129	20	
		神楽山	149外	50	
		敷屋林道大戸沢線	161	205	
		銅山林道逆川支線	174	50	
		明神山	352	15	
		下戸草	387	10	
		貝屋川	419	60	
		中丸山	421外	10	
		大滝沢林道第一支線	429	85	
		七曲林道(細戸峰越線)	742外	200	
		北影	2257	200	
	大富	2098外	230		
	計	12路線		1,135	
計	開設	42路線		47,066	
	改良	21路線		6,839	

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できるものとする。

4 治山に関する事項

位 (林 班)	市 町 村	区 分	工 種	計 画 量
65、180、446	いわき市	保安林の整備	本数調整伐 植 栽 工	119ha
2263	相馬市			
2123	南相馬市			
662	富岡町			
8、19、104、109、313、351、 356、400、418、419	いわき市	保安施設	溪 間 工	21か所
			山 腹 工	22か所
2262	相馬市		溪 間 工	2か所
2001、2038	南相馬市		溪 間 工	4か所
			山 腹 工	1か所
753、754	広野町		溪 間 工	2か所
662	富岡町		そ の 他	1か所
625	川内村		溪 間 工	4か所
2215、2217、2224、2226	飯舘村		溪 間 工	3か所
			山 腹 工	2か所
合 計		保安林の整備		119ha
		保安施設		62か所

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できるものとする。

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

原生的な森林生態系からなる自然環境、地域固有の生物群集を有する森林及び希少な野生生物の生育・生息に必要な森林の保護・管理を目的として、下記のとおり保護林を設定しており、貴重な天然林等の自然環境維持に配慮しながら適切に保護・管理を図っていくこととする。

区 分	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
生物群集 保護林	阿武隈高地	保存地区 1,189.91	1 い～ち 2 い～ほ 3 い～は 4 い、ろ 5 い～ほ 6 い～へ 8 い 101 い～わ、ロ 102 い1～に7 127 い～に 128 ち、る1、る2、 か、イ 132 い、ら～お、イ2 133 い～は 134 い、に、わ、か、 イ1 136 ぬ～よ 137 い1、は～へ	平野部から山間部への移行地域にある森林で、アカマツ・アセビ群落、イヌシデ・イヌガヤ群落、モミ群落、コナラ群落からなる森林である。	保全利用地区の設定に伴い面積増
		保全利用地区 199.46	7 む2、う3、う4 8 ろ2～に、ほ10、 ほ11、ほ16、 ほ17、へ4～へ6、 へ8、と5～と7、 と9～と11 9 か2、よ2、た、 れ2、そ2、つ3、 う3 16 ぬ2、る2、 る3、よ2、よ3、 よ7、た1、た6、 た9、な13、な14		

区 分	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
生物群集 保 護 林	阿武隈高地		20 か3、よ3、 た2、れ2、 つ2、ね2 127 ほ2、へ2 128 い3、ろ2、 ほ2、と2、り、 ぬ、わ、よ～や 132 ろ、は、に2、 ほ、よ、た2 134 は、ほ～る2 136 に2、ほ2、 ち2、り2 137 い2、ろ3 138 ろ2、は、に2		
		1,389.37			
希少個体群 保 護 林	赤 井 岳 ヒ ノ キ 遺 伝 資 源	10.55	63 い	天然分布の北限に あたるヒノキが生 育する原生的な森 林である。	
	木 戸 川 コ ナ ラ 遺 伝 資 源	108.23	711 い1、い7、い8 728 全	中間温帯域に成立 しているモミが混 在したコナラ天然 林である。	
	津 島 マ ツ 遺 伝 資 源	3.43	1015 ろ、は	この地域特有の津 島マツと称される アカマツが生育す る森林である。	
計	3か所	122.21			
合 計	4か所	1,511.58			

(注) 面積欄は、設定区域の全体面積を計上しているが、実際の保護林の面積は、保護林から除外するべき区域（貸付地等）を除外した面積である。

(2) 緑の回廊の名称及び区域
設定なし

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然休養林	いわき	359.84	65 に1～れ、つ、ね	険阻な稜線を持つ雄大な山体、山頂からの眺望、柱状や板状節理の発達した溶岩、垂直分布の顕著な多種の植生、ブナ、ダケカンバの天然林、田代・花咲湿原と湿原植物、多種の高山植物等により形成され、優れた自然景観を呈している。	育成複層林へ導くための施業（以下「育成複層林施業」という。）	実施主体：いわき市 ・歩道、展望台、園地、野営場、宿泊施設	国が実施する施設整備の計画なし	
			139 い～ほ2、と					
			140 ろ1～ろ5、ほ1、ほ2		天然生林へ導くための施業（以下「天然生林施業」という。）			
180 い1～に22、へ～ぬ7、わ	林地以外							
98.05		65 そ	65 ハ、ニ					
森林スポーツゾーン	139 へ、ち	180 イ～ニ9、ニ11～ホ6						
140 い、は、に、へ	150 い、ろ							
151 全								
風致探勝ゾーン	261.79					実施主体：国 ・歩道、標識		
計	1か所	359.84						

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
風景林	郭公山 <small>かつこうやま</small>	62.85	702 か2、よ 703 ち 704 は3、に2	郭公山西面に位置し、コナラを主にブナ、アカマツ、モミなどが混交する天然林で、優れた自然景観を有するとともに山頂からの展望が優れ、自然探勝等に利用されている。	天然生林施業	実施主体：檜葉町 ・駐車場	国が実施する施設整備の計画なし	
	701 イ1、イ2 702 イ		林地以外					
風景林	木戸川 <small>きどがわ</small>	225.35	703 と3 738 い、ほ1、ほ2	滝と渓谷が連なり、自然景観に優れ、自然探勝等に適している。	育成複層林施業	実施主体：檜葉町 ・遊歩道 実施主体：国 ・林道	〃	
			703 ほ3、ほ4 704 い2、ろ2、は2 705 い1、い2 708 い1、い2 709 い 711 い10 733 い 736 い 737 い1 738 ろ1～に2		天然生林施業			
			738 イ1～ロ		林地以外			

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
風景林	ひやま 日山	10.67	1046 ち 1259 る	優れた自然景観を有するため、自然環境の保全・形成に配慮しつつ森林レクリエーション利用の拡大を図る。 全域が県立自然公園に指定されている。	育成複層林施業	既存の施設なし	国が実施する施設整備の計画なし	
	たていし 立石	88.20	2207 い	天然林を背景にした白雲石の石柱(高さ21m)と真野川の溪流が一体となって優れた景観を作り出している。	天然生林施業	実施主体：南相馬市 ・歩道 実施主体：国 ・歩道	〃	
計	4か所	387.07						
森林 スポーツ林	ふくの 神の里	4.60	1042 は2	隣接民有林地内のキャンプ場と一体となって、ハイキング、自然探勝等の利用を図る。	育成複層林施業	既存の施設なし	〃	
計	1か所	4.60						

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
風致探勝林	にいだがわ 新田川 溪 谷	409.05	2025 ろ～り	蛇行する溪谷と溪岸 の天然林が織りなす自 然景観が優れており、 ハイキング、自然探勝 等に適している。	育成複層林施業	実施主体：国 ・歩道	国が実施する 施設整備の計 画なし	
			2026 ろ					
2027 ろ			天然生林施業					
2019 全								
2020 全								
2025 い1、い2								
2026 い1、い2								
2027 い1、い2								
たかまがわ 高瀬川 溪 谷	279.41	1224 い1、い2	流域一帯の山岳、森 林が構成する溪谷美を 有しており、自然探勝 等に適している。 全域が県立自然公園 に指定されている。	天然生林施業	既存の施設なし	"		
		1225 い～は						
		1226 全						
		1227 へ						
		1287 に～ほ2						
計	2 か所	688.46						
そ の 他 (レクリエ ーションの 森施設敷)	横川入 園 地	1.60	2060 に	単独レクリエーション 施設	天然生林施業	実施主体：国 ・森林公園	"	
	ひもろ ぎ森林	4.63	2336 た、れ2、そ2	"	育成複層林施業	実施主体：飯舘村 ・歩道	"	
2336 に2			天然生林施業					
計	2 か所	6.23						

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし。

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種類	名称	設定年月	面積 (ha)	位置 (林小班)	備考
施業指標林	間伐推進指標林	昭和61年11月	1.02	431 る5	間伐技術の普及及び利用面を重視した間伐を積極的に推進する。
施業指標林計			1.02		
試験地	コウヨウザン 植栽共同試験地	令和2年10月	0.10	53 に2	磐城署管内におけるコウヨウザンの造林初期成長特性の解明、造林・保育技術の開発及び系統評価
	敷屋 A 種 収穫試験地	昭和14年9月	1.13	155 ね	収穫量の統計資料収集
	放射性物質試験	平成23年8月	41.06	623 ほ	収穫量の統計資料収集
	栲平 A 種 収穫試験地	昭和16年3月	1.01	1014 ろ	収穫量の統計資料収集
	菖蒲沢 A 種 収穫試験地	昭和15年2月	1.38	2095 い	収穫量の統計資料収集
	霊前 A 種 収穫試験地	昭和13年3月	2.06	2250 は	収穫量の統計資料収集
試験地計			46.74		
展示林	目兼	平成5年4月	6.80	301 ち	学術又は森林施業上の考証及び間伐試験
	モミ	昭和48年4月	2.79	515 な	磐城モミの形質優良な林分の長期的保存
	天然アカマツ	昭和48年4月	9.63	611 い1	天然アカマツの形質優良な林分の長期的保存
	津島マツ	平成5年4月	0.36	1010 り1	津島マツを代表する優良林分の保存
	津島マツ	平成5年4月	4.65	1014 る1	津島マツを代表する優良林分の保存
	津島マツ	昭和58年4月	2.50	1031 に	津島マツを代表する優良林分の保存
展示林計			26.73		
次代検定林	一般検定林 (関前第1号)	昭和41年4月	0.74	19 る2	アカマツの品種系統の検討
	一般検定林 (関前第2号)	昭和42年4月	0.29	32 ほ2、ほ3	アカマツの品種系統の検討
	一般検定林 (関前第23号)	昭和49年4月	0.36	441 ほ4	アカマツの品種系統の検討
	一般検定林 (関前第10号)	昭和47年4月	2.50	620 ろ、り1 わ	アカマツの品種系統の検討
	一般検定林 (関前第5号)	昭和45年4月	1.36	752 し2～し4	クロマツの品種系統の検討
	地域差検定林 (関前第24号)	昭和49年4月	0.47	308 ろ3	アカマツの品種系統の検討

種 類	名 称	設定年月	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
次代検定林	遺伝試験林 (関前第59号)	昭和61年4月	1.02	443 と4	形質に関する遺伝的 特性の解明
	遺伝試験林 (関前第31号)	昭和50年4月	1.99	1047 と、ち	品種系統の検定
	遺伝試験林 (関前第51号)	昭和53年4月	1.19	1255 い4	品種系統の検定
	遺伝試験林 (関前第61号)	昭和61年4月	1.12	2056 い4、い5	形質に関する遺伝的 特性の解明
	遺伝試験林 (関前第50号)	昭和53年4月	1.86	2324 か2、か3	形質に関する遺伝的 特性の解明
	育種集団林 (関前第82号)	令和元年7月	0.80	32 ほ6～ほ9	
	育種集団林 (関前第81号)	平成30年5月	0.76	106 む2～む5	
	育種集団林 (関前第75号)	平成12年5月	0.78	308 る2、 る4内	
	育種集団林 (関前第78号)	平成13年5月	0.78	362 ほ2内	
	育種集団林 (関前第71号)	平成11年5月	0.76	442 お2内	
次代検定林計			16.78		
抵抗性検定林	気象害抵抗性 検定林(耐寒風)	昭和62年4月	1.09	1029 は1	スギ抵抗性品種選抜試 験(関耐寒風前橋10号)
抵抗性検定林計			1.09		
遺伝子保存林	優良遺伝子	昭和43年5月	1.94	306 は2	スギ
	優良遺伝子	昭和56年5月	1.06	389 ち	スギ
	優良遺伝子	昭和43年5月	1.03	439 よ	スギ
	優良遺伝子	昭和52年4月	0.34	443 と11	スギ
	優良遺伝子	昭和52年4月	0.76	443 と12	スギ
	アイノコマツ 遺 伝 子	昭和34年5月	1.34	515 う2	
	アイノコマツ 遺 伝 子	昭和34年5月	1.11	515 う3	
	アカマツ遺伝子	昭和43年4月	1.49	1024 る3	
	アカマツ遺伝子	昭和43年4月	2.63	1045 む2	
	アカマツ遺伝子	昭和43年4月	1.81	1069 い2	
アカマツ遺伝子	昭和43年4月	1.05	1223 い2		

種 類	名 称	設定年月	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
遺伝子保存林	アカマツ遺伝子	昭和43年4月	1.86	1250 つ2	
	アカマツ遺伝子	昭和43年4月	0.14	1250 つ4	
	スギ遺伝子	昭和52年4月	1.00	2037 り	
	スギ遺伝子	昭和56年4月	1.00	2051 と4	
	スギ遺伝子	昭和43年4月	3.00	2070 ほ	
遺 伝 子 保 存 林 計			21.56		
精英樹保護林	スギ勿来4号	昭和31年3月	0.10	301 り	
精 英 樹 保 護 林 計			0.10		
合 計			114.02		

(2) フィールドの提供

対象地（林小班）	設定の目的	備 考
180 い3内	ふれあいの森 「新舞子ふれあいの森」	設定：平成12年6月 実施主体：いわき青年林業会議所 面積：0.40ha
180 い4内、い5内	ふれあいの森 「舞子浜ふれあいの森」	設定：平成30年5月 実施主体：NPO法人 いわきの森に親しむ会 面積：2.82ha
213 へ、ち、わ2 214 ほ3	多様な活動の森 「とわだ遊学の森」	設定：平成14年10月 実施主体：NPO法人 いわきの森に親しむ会 面積：43.98 ha
392 め1～め5、 る1	多様な活動の森 「ヤマボウシの森」	設定：平成17年3月 実施主体：貝泊コイコイ倶楽部 面積：60.35 ha
2263 う2	社会貢献の森 「松川浦希望の森」	設定：平成27年2月 実施主体：はげっ子倶楽部 日本野鳥の会福島県相双支部 面積：0.45ha
2263 う3内	社会貢献の森 「相馬ライオンズ クラブの森」	設定：平成28年2月 実施主体：相馬ライオンズクラブ 面積：0.15ha
2263 う3内	社会貢献の森 「JCE 希望の森」	設定：平成28年2月 実施主体：国土防災技術株式会社 関東支社 面積：0.15ha
2263 う4内	社会貢献の森 「NTT東日本 ふくしまの森」	設定：平成29年2月 実施主体：特定非営利活動法人しんりん 面積：0.35ha
2263 う5内、 の4内	社会貢献の森 「グリーン・サークルの森」	設定：平成30年2月 実施主体：一般社団法人 日本森林林業振興会 面積：0.42ha
2263 う5内	社会貢献の森 「松川浦しあわせの森」	設定：平成30年2月 実施主体：株式会社興林 面積：0.27ha
2263 う5内、 の4内、 の7	社会貢献の森 「ふく風の森」	設定：平成30年2月 実施主体：福島復興風力合同会社 面積：0.44ha
2263 う5内	社会貢献の森 「四季工房 未来の森」	設定：平成30年2月 実施主体：株式会社四季工房 面積：0.14ha
2263 う5内	社会貢献の森 「明治コンサルの森」	設定：平成30年2月 実施主体：明治コンサルタント株式会社 面積：0.14ha
2263 の4内	社会貢献の森 「とうほうみんなの防災林」	設定：平成31年3月 実施主体：株式会社東邦銀行 面積：0.12ha

対象地（林小班）	設定の目的	備 考
2263 の4内	社会貢献の森 「草野建設・物林 復興の森林」	設定：平成31年3月 実施主体：草野建設株式会社 物林株式会社 面積：0.45ha
2263 の5	社会貢献の森 「昭和電工ユニオンの森」	設定：令和2年3月 実施主体：昭和電工ユニオン 面積：0.17ha

(3) 森林共同施業団地

該当なし

(4) その他

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法

位 置	面 積 (ha)	施業方法
108 な、む 126 へ、と 146 そ1～そ3 147 に1、に2、な、う1 149 い、わ1、わ2 180 ほ 2099 へ 2122 に	18.83	育成複層林施業
108 ね、ら 126 い～は、に3 146 ね～ら 147 は、ら、う2、お 149 ぬ 1005 わ～か3 1097 い 1099 い 2099 は、ほ	81.28	天然生林施業
63 ロ 180 ニ10 703 イ 1287 ロ 2122 イ1、イ2	9.38	林地以外

(注) (1)、(2)の箇所を除く。

附 属 参 考 资 料

(1) 国有林野の現況

① 担当区別の区域及び面積

(単位：面積 ha)

担当区	関係 市町村	要存置林野		不要存置 林野面積	官行 造林地 面積
		面積	関係林班		
小川	いわき市	3,755.09	65、141～150、155～180	1.21	58.64
戸渡	いわき市	2,427.26	212～227、 500イ4	—	—
川前	いわき市	3,721.16	1～3、101～104、106～133、 500イ1、500イ2	0.65	179.31
合戸	いわき市	5,042.24	4～21、30～33、58～64、134～140、 151～153	0.13	—
三坂	いわき市	3,183.46	23～29、34～39、41～55、 500イ3	0.09	—
勿来	いわき市	1,883.02	301～313、319～327、329、333、 446い1～た2、イ～ハ4、 500ロ1	—	—
旅人	いわき市	2,268.90	330～332、334、335、337～358、361、 362、364、366、367、369～371、375、 500ロ3、500ロ4	—	—
貝泊	いわき市	4,039.01	372～374、376～402、404～413、 415～419、 500ロ2	—	—
遠野	いわき市	3,766.19	420～445、446れ、ニ	0.08	—
富岡	檜葉町	1.51	646ね	—	—
	富岡町	1,355.11	536イ、539～542、639～644、 646い1～つ、な～む 647、662	1.54	—
	大熊町	2,321.01	503～530、534、536(イ除く)～538、 547い～は、～ち	0.46	—
	双葉町	331.95	544～546、547に、ほ、イ1、イ2	0.11	—
	小計	4,009.58		2.11	—
川内	川内村	5,233.57	601～605、607～638	0.58	380.79
竜田	檜葉町	3,636.55	648、649、650い～へ2、へ4、 651い1～そ5、イ、ロ 652～661、663、701～711	—	—
	富岡町	3.99	650へ3、651つ1～な	—	—
	小計	3,640.54		—	—
木戸	いわき市	372.61	755～757	0.03	—
	広野町	1,483.05	744い1～ね、お～み、イ1、イ2 745～754、759	0.02	69.19
	檜葉町	2,252.99	728～743、744な～の、758	0.07	—
	小計	4,108.65		0.12	69.19

担当区	関 係		要 存 置 林 野	不 要 存 官 置 林 野 造 面 積 面 積	行 地 積 積
	市	町 村			
浪 江	浪 江 町	6,127.86	1001～1005、1097～1113、 1201～1225、1287～1312、 500ハ1、500ハ2	3.25	—
津 島	浪 江 町	4,874.27	1006～1032、1038～1061、 1065～1077、1081い、1081ろ、1082	1.54	—
	葛 尾 村	338.67	1078～1080、1081は～な	—	—
	小 計	5,212.94		1.54	—
葛 尾	浪 江 町	131.43	1095、1096	—	—
	葛 尾 村	4,686.90	1062～1064、1083～1094、 1226～1286、 500ハ3	7.99	—
	小 計	4,818.33		7.99	—
原 町	南相馬市	4,214.60	2001、2004～2047、2125～2130、 2207、 2500イ1	3.23	134.06
馬 場	南相馬市	4,556.08	2048～2102、2104～2109、2122、 2123、 2500イ2	1.06	—
	浪 江 町	755.10	2110～2119、 2500イ3	—	—
	小 計	5,311.18		1.06	—
中 村	相 馬 市	2,752.69	2235～2253、2257～2262、 2263ぬ1～て3、イ、ロ2～ハ7	9.90	—
	新 地 町	3.34	2263い1～り2、ロ1	—	—
	小 計	2,756.03		9.90	—
草 野	飯 館 村	4,667.35	2208～2234、2345～2349、 2351～2365	5.30	—
小 宮	飯 館 村	5,573.75	2301～2344、2350	7.63	11.83
	計	85,760.71		44.87	833.82

② 保安林、自然公園等の面積

(単位：面積 ha)

種 類	細 分	面 積	備 考
保 安 林	水 源 かん 養	41,049.05	
	土 砂 流 出 防 備	7,921.56	
	土 砂 崩 壊 防 備	459.25	
	防 風	26.05	
	水 害 防 備	0.61	
	潮 害 防 備	247.33	
	干 害 防 備	400.34	
	落 石 防 止	1.13	
	魚 つ き	0.24	
	航 行 目 標	1.40	
	保 健	1,710.71	
	風 致	4.16	
		計	49,965.85
砂 防 指 定 地		282.06	
県 立 自 然 公 園	第 1 種 特 別 地 域	141.25	
	第 2 種 特 別 地 域	1,353.66	
	第 3 種 特 別 地 域	2,126.42	
	普 通 地 域	1,293.89	
	計	4,915.22	
県 自 然 環 境 保 全 地 域	特 別 地 区	270.26	
	普 通 地 域	31.74	
	計	302.00	
鳥 獣 保 護 区	特 別 保 護 地 区	97.52	
	特 別 保 護 地 区 以 外	1,944.00	
	計	2,041.52	
史 跡 名 勝 天 然 記 念 物		139.94	
地 す べ り 防 止 区 域		25.92	

(注) 保安林の「計」欄は保安林種ごとの重複関係を除く面積を計上した。

(2) 機能類型別の国有林野の現況

(単位:面積 ha, 材積 m)

機能類型 林種	山地災害防止タイプ						快適環境形成タイプ		水源涵養タイプ		自然維持タイプ		森林空間利用タイプ		合計		
	土砂流出崩壊防備		気象害防備		計		面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積	
	面積	材積	面積	材積	面積	材積											
人工林	育成単層林	1,065.99	296,649	80.09	2,514	1,146.08	299,163			46,850.42	11,048,244	225.32	50,840	186.22	32,914	48,408.04	11,431,161
	育成複層林	115.14	23,638			115.14	23,638			866.71	252,268	36.15	7,844	3.45	771	1,021.45	284,521
	小計	1,181.13	320,287	80.09	2,514	1,261.22	322,801			47,717.13	11,300,512	261.47	58,684	189.67	33,685	49,429.49	11,715,682
天然林	育成単層林	115.21	21,678			115.21	21,678			6,694.73	1,012,697	12.00	4,096	3.21	783	6,825.15	1,039,254
	育成複層林	203.27	38,432	11.60	2,709	214.87	41,141			1,984.29	365,772	23.82	4,246	15.85	2,335	2,238.83	413,494
	天然生林	4,952.03	792,278	46.28	6,799	4,998.31	799,077			16,228.63	2,546,032	1,516.43	252,804	1,292.69	203,986	24,036.06	3,801,899
	小計	5,270.51	852,388	57.88	9,508	5,328.39	861,896			24,907.65	3,924,501	1,552.25	261,146	1,311.75	207,104	33,100.04	5,254,647
無立木地			12.15	2	12.15	2			401.73						413.88	2	
竹林																	
林地計	6,451.64	1,172,675	150.12	12,024	6,601.76	1,184,699			73,026.51	15,225,013	1,813.72	319,830	1,501.42	240,789	82,943.41	16,970,331	
林地以外	216.01	475	68.75		284.76	475			2,432.01	3,549	46.26		54.27	100	2,817.30	4,124	
合計	6,667.65	1,173,150	218.87	12,024	6,886.52	1,185,174			75,458.52	15,228,562	1,859.98	319,830	1,555.69	240,889	85,760.71	16,974,455	

(3) 林道等の現況

(単位：km)

区 分	林 道			林業専用道
	自動車道	軽 車 道	合 計	
延 長	581.1	—	581.1	15.2

(4) 収穫予想表

26ページ以降に示すとおりである。

森林調査簿の地位級と収穫予想表の地位との対比

収 穫 予 想 表 の 地 位	森 林 調 査 簿 の 地 位 級				
	ス ギ	ヒ ノ キ	ア カ マ ツ	カ ラ マ ツ	その他N・L
1	13以上	10以上	9以上	8以上	3
2	10～12	8～9	7～8	6～7	2
3	9以下	7以下	6以下	5以下	1

(5) 地元施設等の現況

(単位：ha)

区 分	分収造林契 約に基づく 分 収 林	分収育林契 約に基づく 分 収 林	共 用 林 野			
			普 通	薪 炭	放 牧	合 計
面 積	3,375.15	54.16	1,043.55	—	—	1,043.55

貸 地					
植 樹 用 地	農 耕 用 地	鉱 業 用 地	道 路 用 地	水 路 用 地	電 気 事 業 用 地
2.30	20.47	2.76	447.75	16.53	422.89

貸 地					
温 鉱 泉 用 地	学 校 用 地	採 草 放 牧 地	建 物 用 地	そ の 他 貸 地	合 計
0.13	—	111.36	10.67	150.93	1,185.79

収獲予想表

樹種 カラマツ

齡 級	地 位 2												成 長 率 %	林 齡 年
	主 林 木				副 林 木		主 副 林 木 合 計							
	平 均 胸 高 直 径 cm	平 均 樹 高 m	1ha当り											
			本 数 本	幹 材 積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³	幹 材 積 m ³	幹 材 積 累 計 m ³	幹 材 積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³	総 収 穫 量 m ³		
I														5
II	5.2	4.0	2,500	20		2.0			20		2.0	20		10
					6.0					6.8			22.0	
III	9.2	7.3	1,850	50		3.3	4	4	54		3.6	54		15
					7.0					8.0			13.5	
IV	12.4	9.8	1,400	85		4.3	9	13	94		4.9	98		20
					5.8					6.6			8.4	
V	14.7	11.8	1,100	114		4.6	13	26	127		5.6	140		25
					4.4					4.8			5.8	
VI	16.6	13.5	990	136		4.5	15	41	151		5.9	177		30
					3.6					3.6			4.4	
VII	18.4	14.8	780	154		4.4	15	56	169		6.0	210		35
					3.2					3.0			3.6	
VIII	20.1	15.8	670	170		4.3	14	70	184		6.0	240		40
					2.8					2.6			3.0	
IX	21.8	16.5	590	184		4.1	13	83	197		5.9	267		45
					2.4					2.4			2.6	
X	23.4	17.0	530	196		3.9	13	96	209		5.8	292		50
X I														55
X II														60

※成長率はライプニッツ式を用いて算出

収穫予想表

樹種 その他針葉樹

年齢	地位 2				林齢年
	主 副 林 木 合 計				
	1ha当り			成長率 %	
幹材積 m ³	連年成長量 m ³	平均成長量 m ³			
I					5
II	10		1.0		10
III	16	1.2	1.1	9.9	15
IV	25	1.8	1.3	9.3	20
V	35	2.0	1.4	7.0	25
VI	46	2.2	1.5	5.6	30
VII	59	2.6	1.7	5.1	35
VIII	72	2.6	1.8	4.1	40
IX	86	2.8	1.9	3.6	45
X	100	2.8	2.0	3.1	50
X I	112	2.4	2.0	2.3	55
X II	124	2.4	2.1	2.1	60
X III	136	2.4	2.1	1.9	65
X IV	146	2.0	2.1	1.4	70
X V	156	2.0	2.1	1.3	75
X VI	164	1.6	2.1	1.0	80

※成長率はライプニッツ式を用いて算出

樹種 広葉樹(ぼう芽)

年齢	地位 2				林齢年
	主 副 林 木 合 計				
	1ha当り			成長率 %	
幹材積 m ³	連年成長量 m ³	平均成長量 m ³			
I					5
II	8		0.8		10
III	27	3.8	1.8	27.5	15
IV	48	4.2	2.4	12.2	20
V	64	3.2	2.6	5.9	25
VI	76	2.4	2.5	3.5	30
VII	85	1.8	2.4	2.3	35
VIII	93	1.6	2.3	1.8	40
IX	98	1.0	2.2	1.1	45
X	103	1.0	2.1	1.0	50

収穫予想表

樹種 広葉樹

齡 級	地 位 1				地 位 2				地 位 3				林 齡 年
	主 副 林 木 合 計				主 副 林 木 合 計				主 副 林 木 合 計				
	1ha当り			成 長 率 %	1ha当り			成 長 率 %	1ha当り			成 長 率 %	
	幹 材 積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³		幹 材 積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³		幹 材 積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³		
I													5
II	14		1.4		12		1.2		10		1.0		10
III		3.2		16.5		2.4		14.9		2.0		14.9	
IV	30		2.0		24		1.6		20		1.3		15
		3.4		9.4		2.8		9.6		2.2		9.2	
V	47		2.4		38		1.9		31		1.6		20
		3.6		6.7		3.2		7.3		2.4		6.8	
VI	65		2.6		54		2.2		43		1.7		25
		3.4		4.8		3.0		5.0		2.4		5.0	
VII	82		2.7		69		2.3		55		1.8		30
		3.2		3.6		2.8		3.8		2.6		4.3	
VIII	98		2.8		83		2.4		68		1.9		35
		2.8		2.7		2.6		3.0		2.4		3.3	
IX	112		2.8		96		2.4		80		2.0		40
		2.4		2.1		2.2		2.2		2.0		2.4	
X	124		2.8		107		2.4		90		2.0		45
		2.2		1.7		2.0		1.8		1.6		1.7	
XI	135		2.7		117		2.3		98		2.0		50
		2.2		1.6		1.8		1.5		1.4		1.4	
XII	146		2.7		126		2.3		105		1.9		55
		1.8		1.2		1.6		1.2		1.2		1.1	
XIII	155		2.6		134		2.2		111		1.9		60
		1.4		0.9		1.2		0.9		1.0		0.9	
XIV	162		2.5		140		2.2		116		1.8		65
		1.2		0.7		1.0		0.7		0.8		0.7	
XV	168		2.4		145		2.1		120		1.7		70
		1.0		0.6		0.8		0.5		0.6		0.5	
XVI	173		2.3		149		2.0		123		1.6		75
		1.0		0.6		0.8		0.5		0.6		0.5	
XVII	178		2.2		153		1.9		126		1.6		80
		0.8		0.4		0.6		0.4		0.4		0.3	
XVIII	182		2.1		156		1.8		128		1.5		85
		0.8		0.4		0.6		0.4		0.4		0.3	
XIX	186		2.1		159		1.8		130		1.4		90
		0.6		0.3		0.4		0.3		0.2		0.2	
XX	189		2.0		161		1.7		131		1.4		95
		0.6		0.3		0.4		0.2		0.2		0.2	
XXI	192		1.9		163		1.6		132		1.3		100

※成長率はライブニッツ式を用いて算出